

LPガスで 冷暖房整備

避難所2体育館

みどり

みどり市は、避難所としても機能する大間々東中とあずま小の両体育館に、LPガスを熱源とした自立型エアコン施設を整備した。停電になっても40秒で起動、自家発電しながら館内を暖めたり、冷やしたりすることができ、発電した電気は体育館内の照明、携帯電話の充電などにも利用できる。

工事費は大間々東中が7400万円、あずま小が4200万円。

県LPガス協会（山田陽一会長）などの関係者が18日、大間々東中を訪れ、設置された冷

暖房エアコンを視察した。写真。

視察に先立ち、同市役所で同協会が寄付金100万円、県ガス事業協同組合（渡辺誠理事長）が非常時炊き出しセット2組をそれぞれ市に贈った。また、炊き出しセットを稼働できるガス取り出し口も無償で追加工事した。

炊き出しセットは1

00人分のご飯を約30分で炊き上げるガス炊飯器と強力ガスコンロに、キャスターが付いていて簡単に移動できる。須藤昭男市長は「炊き出しセットをスムーズに使えるよう、イベントなどでも積極的に利用したい」と感謝していた。

